

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ

コード番号 9439 URL <http://mhgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 文彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 小林 繁之

TEL 03-5411-7222

四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	1,398	△11.3	111	21.7	115	21.2	84	52.3
25年6月期第3四半期	1,577	10.0	91	44.3	94	74.7	55	87.4

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 84百万円 (37.6%) 25年6月期第3四半期 61百万円 (125.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	7.62	—
25年6月期第3四半期	5.00	—

当社は、平成25年4月24日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第3四半期	1,537	734	47.7	65.86
25年6月期	1,380	677	49.1	60.74

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 734百万円 25年6月期 677百万円

当社は、平成25年4月24日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	250.00	250.00
26年6月期	—	0.00	—		
26年6月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月24日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。なお、株式分割は平成25年7月1日を効力発生日としておりますので、平成25年6月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施しております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	△7.1	150	22.1	150	17.3	120	62.6	10.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	11,332,100 株	25年6月期	11,332,100 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	186,148 株	25年6月期	186,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	11,145,981 株	25年6月期3Q	11,146,000 株

当社は、平成25年4月24日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。
そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策により株価が急回復し、円高も是正され、景気回復への足取りは確かなものへと変わりつつあります。しかしながら、米国の量的緩和縮小の動きなどにより世界経済の先行きは不透明であり、個人消費につきましても若年層の所得の伸び悩み等の影響により依然楽観できない状況となっております。

当社グループが属する美容業界におきましては、増税前の駆け込み需要も限定的であり、景況感の改善から今後の伸びが期待されるものの、引き続き厳しい環境に置かれていることに変わりはありません。

このような状況のもと、当社グループは、BSサロン運営事業におきましては引き続き店舗設備リーシングを活用した出店を着実に進め、直営サロン運営事業におきましては移転・統合を行う一方でサロンスタッフの独立による直営サロンのBSサロンへの転換により収益力の安定化を図って参りました。また、ヘアメイク事業、美容室支援事業の業績も新たな収益の柱として着実に伸びております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期に比べ売上高は減少したものの営業利益は大幅に増加し、売上高1,398,997千円(前年同期比11.3%減)、営業利益111,771千円(前年同期比21.7%増)、経常利益115,074千円(前年同期比21.2%増)、四半期純利益84,896千円(前年同期比52.3%増)となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン(フランチャイズサロン)のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン12店舗、準直営サロン(業務委託サロン)1店舗の計13店舗を展開しております。当第3四半期連結累計期間におきまして、多摩店、相模大野店、名古屋栄店が直営サロンスタッフの独立によりBSサロンへ転換いたしました。また、横浜店を横浜西口店との統合により、伏見桃山店を京都店との統合により、福岡天神店は、BS店である福岡天神西通り店との統合により閉店いたしました。

以上の結果、直営サロン運営事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、790,587千円(前年同期比19.2%減)、セグメント利益は、23,750千円(前年同期比409.7%増)となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第3四半期連結累計期間におきましては、国内では新規出店が2店舗、直営サロンからの転換が3店舗、閉店が5店舗となりました。海外におきましては韓国・ソウル(Seoul)において3店舗、台湾・高雄において1店舗の計4店舗を新規出店し、韓国・テグ(Daegu)において1店舗を閉店いたしました。その結果、当第3四半期会計期間末日現在において、国内71店舗、韓国23店舗、台湾4店舗の計98店舗となっております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、前第3四半期連結累計期間に比べリース売上高が64,021千円(前年同期比51.1%減)減少したことなどが影響し、BSサロン運営事業の売上高は、490,788千円(前年同期比30.2%減)、セグメント利益は、213,411千円(前年同期比10.0%減)となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間3,000ページ以上を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。当社のヘアメイクチームの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどのアイデアソースとしても重要な役割を担っております。

ヘアメイク事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、当社ヘアメイクアーティストの展示会に係る収入や総広告費の回復などにより順調に推移し、157,651千円（前年同期比18.4%増）、セグメント利益は、13,586千円（前年同期比172.1%増）となりました。

(その他事業)

当社グループでは、国内84店舗を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、クレジット手数料軽減サービスを一般のサロンに提供する美容室支援事業などを行っております。

クレジット手数料軽減サービスの契約件数、取扱高は引き続き順調に伸びており、その他の当第3四半期連結累計期間の売上高は、37,277千円（前年同期比25.4%増）、セグメント利益は、12,128千円（前年同期比31.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ157,460千円増加し、1,537,630千円となりました。主な要因としましては、クレジット手数料軽減サービスの取扱高増加等による未収入金の増加143,157千円、有形固定資産の減少32,900千円、リース投資資産の増加33,873千円などによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ100,426千円増加し、803,541千円となりました。主な要因としましては、クレジット手数料軽減サービスの取扱高増加等による未払金の増加98,698千円、未払費用の増加13,577千円及び未払消費税等の減少6,137千円などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ57,034千円増加し、734,089千円となりました。主な要因としましては、四半期純利益84,896千円、配当金の支払27,865千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年8月15日付「平成25年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	309,086	294,690
売掛金	111,207	137,779
商品	64,992	60,008
未収入金	300,499	443,656
繰延税金資産	57,526	57,144
その他	36,289	56,957
貸倒引当金	△5,350	△5,871
流動資産合計	874,250	1,044,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	395,472	304,969
減価償却累計額	△236,935	△190,898
建物及び構築物(純額)	158,536	114,071
工具、器具及び備品	93,470	97,328
減価償却累計額	△75,839	△74,913
工具、器具及び備品(純額)	17,631	22,414
その他	5,110	8,718
減価償却累計額	△3,403	△229
その他(純額)	1,706	8,488
有形固定資産合計	177,874	144,974
無形固定資産		
のれん	1,950	1,218
その他	188	156
無形固定資産合計	2,139	1,375
投資その他の資産		
投資有価証券	11,863	5,907
関係会社株式	15,404	15,404
長期貸付金	75,513	78,544
差入保証金	213,844	185,783
リース投資資産	76,159	110,032
繰延税金資産	4,421	—
破産更生債権等	6,907	6,907
その他	5,625	31,200
貸倒引当金	△83,833	△86,864
投資その他の資産合計	325,905	346,915
固定資産合計	505,920	493,265
資産合計	1,380,170	1,537,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,077	15,165
未払金	423,616	522,315
未払費用	44,461	58,039
未払法人税等	11,789	6,815
未払消費税等	12,934	6,796
その他	22,228	26,780
流動負債合計	524,108	635,912
固定負債		
長期未払金	41,958	39,276
受入保証金	133,240	128,240
資産除去債務	3,643	—
その他	164	111
固定負債合計	179,006	167,628
負債合計	703,115	803,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	104,614	104,614
利益剰余金	98,072	155,104
自己株式	△25,737	△25,751
株主資本合計	676,950	733,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	121
その他の包括利益累計額合計	105	121
純資産合計	677,055	734,089
負債純資産合計	1,380,170	1,537,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,577,950	1,398,997
売上原価	1,199,725	997,919
売上総利益	378,224	401,078
販売費及び一般管理費	286,407	289,307
営業利益	91,817	111,771
営業外収益		
受取利息	74	40
為替差益	3,267	995
受取遅延損害金	215	—
保険解約返戻金	—	1,661
その他	82	604
営業外収益合計	3,639	3,303
営業外費用		
その他	474	—
営業外費用合計	474	—
経常利益	94,982	115,074
特別利益		
固定資産売却益	—	65
資産除去債務戻入益	2,216	—
特別利益合計	2,216	65
特別損失		
投資有価証券清算損	7,315	—
投資有価証券評価損	—	5,972
固定資産売却損	—	21
減損損失	24,309	—
店舗閉鎖損失	—	7,952
特別損失合計	31,624	13,946
税金等調整前四半期純利益	65,574	101,194
法人税、住民税及び事業税	13,219	11,493
法人税等調整額	△3,403	4,803
法人税等合計	9,816	16,297
少数株主損益調整前四半期純利益	55,758	84,896
四半期純利益	55,758	84,896

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55,758	84,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,950	16
その他の包括利益合計	5,950	16
四半期包括利益	61,709	84,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,709	84,912
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	978,777	702,678	133,100	1,814,556	29,729	1,844,286	△266,335	1,577,950
セグメント利益	4,659	237,116	4,992	246,769	9,229	255,998	△164,180	91,817

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△164,180千円には、棚卸資産の調整額234千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△164,414千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営サロン運営事業」セグメントにおいて、移転等により将来キャッシュ・フローが減少する見込みの店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額して、減損損失を計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において24,309千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	790,587	490,788	157,651	1,439,027	37,277	1,476,304	△77,306	1,398,997
セグメント利益	23,750	213,411	13,586	250,749	12,128	262,878	△151,106	111,771

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△151,106千円には、棚卸資産の調整額586千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△151,693千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。